

## 日本慢性期医療協会

## 医師のための排尿機能回復に向けた治療とケア講座

平成 28 年度診療報酬改定では、手術等医療技術の適切な評価の中で、下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価として「排尿自立指導料」が新設されました。さらに、平成 30 年度の介護報酬改定では、「排せつ支援加算」が新設されるなど、高齢者の自立に向けて排泄ケアがクローズアップされております。

「排尿自立指導料」算定のための医師に関する施設基準では、3 年以上の勤務経験を有する泌尿器科の医師への研修は義務付けられておりません。しかし、泌尿器科医であっても、高齢者や要介護者の排尿に関して実際に十分な経験を積まれた医師が多いとは言えない状況です。これからの慢性期病棟、あるいは介護施設や在宅療養の場において、すべての医師が排尿に関してある程度の知識や技能を持つことが求められる時代になってきました。そして、看護・介護・リハビリテーション等のスタッフが多職種チームとして排尿ケアを提供していくために、医師として適切な指導が必要です。

本講座では、主に高齢者の尿路機能障害にポイントを絞り、病態や診断、治療、薬剤処方等の基本的な知識の習得から、実際の現場でチーム医療を行うための具体的な取組みまで、1 日の研修でオールマイティに学びます。事例演習方式での研修は、先生方の明日からの診療にきつとお役に立つことでしょう。

排泄の自立は、人としての尊厳を保つために最も回復が望まれる機能の一つです。多くの先生方が専門的な知識を習得すれば、一人でも多くの患者において排尿機能が回復すると信じています。奮ってご参加ください。

## 開催概要

【日 程】 2019年9月28日（土）10：30～18：00

【会 場】 東京研修センター

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 シヤトレ市ヶ谷 2 階  
（丸ノ内線「新宿御苑前」駅より徒歩 10 分）

【定 員】 医 師 80 名（催行人員 20 名以上）

※催行人員に満たない場合、本講座の開催はございません。

【参加費】 会員 13,000 円 非会員 26,000 円（昼食代含む）

【申込締切】 2019年7月31日（水）

【修了証】 \*全講義を履修された方には日本慢性期医療協会より「排尿自立指導料」該当研修の「修了証」を発行いたします。

\*本講座は「排尿自立指導料」該当研修のため、遅刻・早退・中抜けのある場合は修了証を発行できません。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

【その他】 \*連絡担当者宛に「参加証」、「参加費請求書」を8月上旬頃にお送りいたします。

\*交通・ご宿泊の手配などにつきましては、各自でお願いいたします。

\*本講座は慢性期医療認定病院の更新要件に該当します。（2 単位）

【講 師】

西尾俊治先生 南高井病院院長・日本泌尿器科学会専門医

日本慢性期医療協会常任理事・総合診療医認定講座委員会委員長

元愛媛大学医学部助教授・医学部附属病院低侵襲手術センター副センター長

【研修プログラム（予定）】

9月28日（土） 10:30～18:00	
10:30～12:00	尿路機能障害の病態と診断
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～14:30	尿路機能障害の治療と予防
14:40～16:10	尿道留置カテーテルの抜去に向けた取組み
16:20～18:00	排尿ケアチームの役割と排尿自立に向けた実践例

日本慢性期医療協会「排尿自立指導料」該当研修  
**医師のための排尿機能回復に向けた治療とケア講座**  
**参加申込書**

申込期日 2019年7月31日（水）

申込先 FAX. 03-3355-3122 日本慢性期医療協会事務局

貴施設名 日本慢性期医療協会  
 （ 会 員 ・ 非 会 員 ）

住所 (〒 - )

TEL. FAX.

E-mail. (ブロック体でお願い致します)

連絡担当者氏名 部署

\*連絡担当者様宛に「参加証」と「参加費請求書」を8月上旬頃にお送り致します。

\*交通・ご宿泊の手配などにつきましては、各自でお願いいたします。

\*満席の場合、当会から3営業日以内にご連絡を差し上げます。

<下記に参加者をお書き下さい>

No.	ふりがな 氏名	専門科	経験年数
1			年
2			年

日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL. 03-3355-3120 FAX. 03-3355-3122 Email info@jamcf.jp

ホームページhttp://jamcf.jp 日慢協ブログ http://manseiki.net

慢性期.com https://manseiki.com